

| | | | | | |
|--------------------------|-----|-----|-------------------|------------|-----------------------------------|
| 9 月度 ^{例会} 山行報告書 | | 報告者 | 津田 廣一 | 参加 メンバー | CL; 岸上 薫 町田 修 金子 清 津田 廣一 |
| 個人 | | 報告日 | 10/09 | | |
| 山 域 | 北関東 | 山行日 | 13 年 09 月 21 日(土) | | |
| 山 名 | 武尊山 | | | | |

| | | |
|------|----------------|--------------------|
| 山行目的 | 9 月例会・関東の山を楽しむ | コースタイム (天候: 天気図記号) |
|------|----------------|--------------------|

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



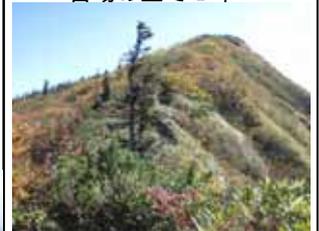
2.5 万分の 1 地図: 藤原湖、鎌田

9/21 晴れ
05:00 起床
06:35 裏見ノ滝P発
08:00 避難小屋分岐一本
09:10 岩場の上一本
09:45 武尊山山頂
10:10 武尊山山頂発
11:05 剣ヶ峰山 (15分)
12:20 沢一本
13:00 分岐一本
13:40 裏見ノ滝P着

16:30 菅沼キャンプ場着



岩場の上で 1 本



色づきかけた武尊山



武尊山山頂より剣ヶ峰山
剣ヶ峰山の山頂にて

山行報告 前夜 7 時半頃、3 人で出発。長丁場の深夜ドライブを覚悟して交代で運転する。裏見ノ滝Pへ到着は 1 時半。ぜいたくにも、3 人で広々としたV6テントへ。金子持参のビールで乾杯。喉を潤して、2 時就寝。

1 日目; 5 時に起き、岸上と合流。テントを撤収、朝食を食べて登る準備。天気も良さそうで気分もハイだ。何組かのパーティが出発して行った。支度を終えて、ポレポレと出発する。トップの金子に続く。まずは、林道歩き。準備運動に丁度いい。30 分程歩いて、帰路予定の分岐に到着。何組かの先行パーティが休憩しているが、一本取るには早すぎると、上着だけを脱いで、そのまま登山道に入る。ここからは、一転して急登だ。木陰の中を登るが暑く、汗が噴き出す。1h 位登り、休憩の声もかかるが、上の方が明るく、もう少しで手小屋沢避難小屋に着きそうだ。「もう少しで尾根道に出ると思う」と、登り続けて避難小屋分岐へ到着。休憩していると一人の若い女性が、一言二言、挨拶の言葉を交わして、そのまま追い抜いて行った。小屋の下の水場で水を補給して、再び登り出す。徐々に傾斜が増してきた所で追いついて、言葉を交わす。追い抜くも、いいペースで後をついて来る。クサリとハシゴのかかる岩場を乗り越えて展望抜群の岩場の上で一本。先程の女性も登ってきて、写真を撮ったり、話している内に、すっかり仲良くなってしまった。最後の岩場を登りきると、色づき始めた武尊の姿がくっきり見える。緩やかな山道を登って、少し降って、再び登ると武尊山頂だ! 燧や至仏の尾瀬の山、谷川岳、遠く富士山も小さく顔を見せている。360 度のパノラマを楽しんでは、剣ヶ峰を目指す。ガレ道をど

〜んと降っては、登り返す。1h 程で、剣ヶ峰へ到着。再び、景色を楽しんでは、急傾斜の降り道を滑りそうになりながら耐える。傾斜が緩やかになった沢で一本。やがて、分岐も過ぎて、駐車場へ無事に下山。日帰り予定の彼女を、明日の日光白根山へも誘い、同行する事に。菅沼キャンプ場へ 3 台の車で向かう。キャンプ場で一風呂浴びてサッパリしては、途中のスーパーで買った食材で手作りうどん鍋での大宴会を楽しんだ。気持ちよく、爆睡!



山ガールと一緒に 山頂です

確認
(リーダー)

岸上

13.10.06

作成
(報告者)
津田

13.10.04

リーダー所見 例会としては、少し寂しい人数でしたが、山ガール一人を加えた、楽しい山行になりました。天候にも恵まれ、素晴らしい眺望を楽しめた。ただ、愛知県から遠いことに加えて、CLの私が東京から個別参加という形になった事が参加人数に影響があったと考えます。次回企画をする時は、愛知県側リーダーと二人で運営をやっていく必要性を感じた。次回は、3 連休前提で福島県を中心にした山行計画をしたい。